

令和2年度学校経営方針

松戸市立栗ヶ沢小学校

1 学校教育目標

『 社会性を身に付け、創造力あふれる子の育成 』
～教育のユニバーサルデザイン化をめざして～

2 経営の基本方針

○学校経営のスローガン：「すべての児童にやさしい栗小」

「チーム学校で安心、安全な学校づくり」

- ・すべての児童が仲の良い学校、学級を目指して、全職員でいじめ防止に取り組む。
- ・一人ひとりの児童に親切、丁寧に接し、児童が相談しやすい関係づくりに努める。
- ・学校、保護者、地域が連携して、児童が安心して過ごせる安全な環境づくりに取り組む。

「保護者、地域に信頼され、愛される学校づくり」

- ・学校の情報を積極的に発信し、地域とともに歩む学校づくりの推進を図る。
- ・保護者、地域の意見等に真摯に耳を傾け、より良い学校づくりに努める。
- ・信頼される学校を目指し、全職員で不祥事根絶に取り組む。

「健康で生き生きとした働きがいのある職場づくり」

- ・児童に向き合う時間の確保を目指し、全職員で働き方改革に取り組む。
- ・報告、連絡、相談、連携、協働、共有を心掛け、常に対話のある職場づくりに努める。

3 目指す児童像

「自ら進んで学ぶ子」

- ・「できた、わかった」が実感でき、児童の言葉があふれる授業の実践。
- ・家庭学習の習慣化、読書活動の充実。

「やさしく心豊かな子」

- ・挨拶、清掃活動、歌声活動の重視。
- ・道徳教育の実践、人権教育の推進、体験活動の充実。

「たくましく元気な子」

- ・基本的な生活習慣の確立、運動の日常化。
- ・健康教育の推進、安全教育の充実。

4 目指す学校像

「子どもを大切にする学校」

- ・すべては子どもたちのためにを合言葉に「生きる力」の育成。
- ・教育のユニバーサルデザイン化の実践。

「信頼される学校」

- ・積極的な情報発信、親切で丁寧な対応と不祥事根絶に向けての取組。

「環境が整った学校」

- ・学習環境、生活環境の整備と言語環境の推進。

5 目指す教師像

「子どもと共に学ぶ教師」「信頼される質の高い教師」「子どもの命を大切にする教師」

- ・人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員。
- ・高い倫理観をもち、心身ともに健康で、明朗、快活な教員。
- ・幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員。
- ・幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員。
- ・組織の一員としての責任感と協調性をもち、互いに高め合う教員。

6 経営の重点

「確かな学力を育む」

- * 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
 - ・児童の実態に応じた指導計画の工夫と改善。
 - ・学習内容、学習課題の明確化。「何を学び、何を身に付けるのか」
 - ・指導と評価の一体化を図る。指導計画、評価計画の工夫と改善。
- * 生徒指導の機能を生かした「わかる授業」の実践
 - ・「自己決定」：児童が自ら考え、判断して実行できる場面を意図的に設定する。
 - ・「自己存在感」：児童の個別性、独自性を大切にし、自己有能感を育てる。
 - ・「共感的人間関係」：お互いの良さを認め合う活動などにより他者受容感を育てる。
- * 「きめ細かな指導」による少人数指導・個別指導の充実
 - ・学習サポーター、スタッフ等の活用。
 - ・実態分析による学力に関する課題の把握。
- * コミュニケーション能力を養う「言語活用科」の推進
 - ・言語活用科での学びを各教科の授業や日常生活に生かす。
 - ・栗っ子言語目標を意識した授業の実践。

「豊かな心を育む」

- * 「考え、議論する道徳」の実践と評価の工夫
 - ・道徳教育推進教師を中心とした道徳科の授業の工夫と改善。
 - ・通知表における道徳科の評価の工夫と改善。
- * Q-U調査等を活用した「児童理解と支援」の充実
 - ・Q-U調査の分析による児童理解、支援と学級集団づくりへの活用。
 - ・生活アンケート等によるいじめの早期発見と早期対応。
- * 共生社会の実現を目指した「交流及び共同学習」の推進
 - ・特別支援学級児童と通常学級児童が同じ場で学ぶ機会の確保。
 - ・地域の人たちとのふれあい活動等の推進。
- * 地域人材の活用や地域力を生かした「体験学習」の充実
 - ・地域や家庭と連携した体験活動の機会の確保。
 - ・体験活動を通じた勤労観、職業観の育成を重視したキャリア教育の充実。

「健やかな体を育む」

- * 運動の特性を重視した授業「楽しい体育」の実践
 - ・児童の実態に応じた体育の授業内容の工夫と改善。
 - ・発達段階に応じた系統性を重視した指導計画の作成。
- * 「望ましい生活習慣の獲得」心と体の健康づくりの推進
 - ・業間、休み時間等における外遊びや体力づくりを通じた運動の日常化。
 - ・発達段階に応じた健康教育の推進。
- * 「危険回避能力の育成」を図る安全教育の充実
 - ・安全点検と避難訓練、危機管理マニュアル等の工夫と改善。
 - ・発達段階に応じた安全教育の充実。
- * 「食事のマナーや感謝の心」を育てる食育の推進
 - ・学校栄養職員等の専門性を生かした食育の推進。
 - ・早寝早起き朝ごはんの推進と食に他する感謝の心の育成。

7 「コロナ対応年度」について

新型コロナウイルス感染症対策についての基本的な考え方

- ・感染症対策のための対応であるということを前提に考える。
- ・児童の安全、健康の確保を第一に考える。